

「蛇口から毎日おいしい水が飲める」 そんな“あたりまえ”を支えています。

東京管路総研株式会社

所在地／三鷹市新川5-17-16 TKS.BLD TEL. 0422-71-1112 <https://www.tokyokanro.co.jp>
設立／2003(平成15)年3月 従業員数／79名(2025年5月現在)



しょくばけんがくのかう
職場見学可能です

私たちの仕事

私たちは、みなさんが安心しておいしい水道水を飲めるように、水道管などの点検調査や工事のお手伝いをする会社です。大きな地震や災害が起こると、水道設備が故障して水がでなくなったり、水もれしたりすることがあります。そのため、いつでもみなさんが安心して水道を使えるよう、日々水道管などの点検調査や工事のお手伝いを行い、24時間365日、安全でおいしい水を守る仕事をしています。



▲本社

? なぜ水道管の点検調査が必要なの?

- 震災や火災など、いざというときでも水道設備を使えるようにするため。
- 水は大切な資源なので、水もれでムダにしないため。
- 蛇口をひねったときに、いつでもおいしい水が飲めるようにするため。

水道管が壊れたり水もれを起こすと「水が飲めない」「食事の準備ができない」「トイレの水が流せない」「お風呂に入れない」「洗濯ができない」など、当たり前の生活ができなくなります。そのため、人の健康診断のように、水道管も点検や調査が必要です。



▲東京管路総研
マスコットキャラクター
「んぼこます」くん

ここに注目!!

設備点検調査

道路上の「消火栓」や水道管の水を止めるための「バルブ」などを点検調査し、水道局へ報告します。簡単に直せるものは修理も行います。



どんな点検調査や作業をしているの?

漏水調査

水道のメータや道路上で「水もれの音を聞く」専門の器具などを使い調査します。水もれが見つかれば水道局に報告します。



断水補助作業

水道工事の時に水道管の水を止める作業を行います。工事中は水がにごるので、工事が終わったら水道管にきれいな水を流します。



「設備点検調査」の流れを見てみよう!

「設備点検調査」では、水道管の設備がいつでも使える状態になっているかどうか点検調査をします。



1 事前準備作業

点検調査に入る場所を下見します。道路の広さや交通量を確認し、その情報をもとにさまざまな資料を作成します。



2 設備点検調査

水道管の設備がきちんと操作できるか、古くなってこれそうな箇所はないか点検します。古くなった設備に塗装をなおしたり、錆びたボルトを交換したりします。交通量が多い道路では夜に点検調査を行います。



3 報告書作成

点検調査の結果を図面や報告書に記入します。点検写真を見やすいように整理し、できあがった報告書を水道局へ提出します。



ここに注目!!

どんな取り組みを行っているの?

限りある資源の「水」を大切に

人は水なしでは生きていけません。しかし地球上で飲み水となるのは1%以下で、残りは海水や氷河です。貴重な水をムダにしないよう、私たちは社会に貢献しています。



今ある水道管を長く使えるように

水道水を蛇口まで運ぶ「水道管」。なるべく長く使い続けていく「リユース」の考えを大切に、水道管の調査や管理を行っています。



他の国では水道水を飲めるの?

蛇口からそのまま水を飲める国はごくわずかの国だけです。日本は昔から水道管をしっかりと管理しているから、とてもおいしい水が飲めるんですよ。

はたらく人の声

業務部
設備点検調査担当
みや じま たく や



宮島 卓也 さん

業務部
漏水調査担当
たか ばし はる



高橋 遥琉 さん

業務部
断水補助作業担当
さくら い こう へい



櫻井 滉平 さん

水道管設備の点検調査を行い、火事の際に消火栓から水を出したり災害の時に水道管の水を止められるようにしています。いざという時に災害の被害を少なくできるようにがんばっています。

音聴棒などを使って、水もれの音を聞きわけて水もれがないか調査しています。調査を行うことで、みなさんが安心して生活できると思うと、大きなはげみになります。

水道工事を行う時に水道管の水を止める必要があるので、その水を止めるための断水作業を行っています。古い水道管を新しい水道管に交換する作業を工事屋さん協力して行っています。